

救理ソリューションカンファレンスが平成 31 年 1 月 19 日(土)にぎわい交流館 AU パフォーマンス工房にて開催されました。とても冷え込んだ日でしたが会員 12 名、子供 2 名の参加がありました。お子様連れ可能なイベントだったので、おもちゃ等の用意もしましたが、子供には広いスペースと大きい鏡のある施設そのものを楽しんでもらえた様子でした。

はじめに PaluPalu 代表の山方千晶先生を講師に迎えて、ピラティスを行いました。ヨガとピラティスの違いから教わり、実技は 1 時間ほどでした。一部を紹介すると、『肩を下げる際に腕で下げるのではなく、肩甲骨の下にある筋肉で下げるように』と言われて、レッスン前はその意図がまったく理解できなかったです。しかし意識を集中し、一連の動きの中でやっていくうちに、意識することが難しかった筋肉を感じるようになるようになりました。普段使われていない筋肉を使うことができるようになることで、ケガの予防やボディメイクにも役立つとのことだったので、大変よい経験になりました。

ピラティスに引き続き、情報交換を行いました。自施設の勤務表やシフト表を持ち寄り、他施設と比較検討を行いました。休みや明けなどの穴埋め的にサブを多数配置している施設や、ひと月ごとのローテーションでまわしている施設、マンモグラフィに優先的に配置されることが多くCTやMRに携われるのは月に一度という施設もありました。産前産後の働き方に関して上安を感じている方やまたそれを訴えられて対応に困っている上長もいるようです。女性技師が全体の 2 割を占めるようになった今、産前産後の働き方は大変重要であり、その体制を整えていく必要があります。男性技師と同等な扱いを受けたいと必要以上に無理して働いていた世代から、女性らしく働くことができる世代への移行期なのかもしれないなと感じました。

記 高橋

